土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

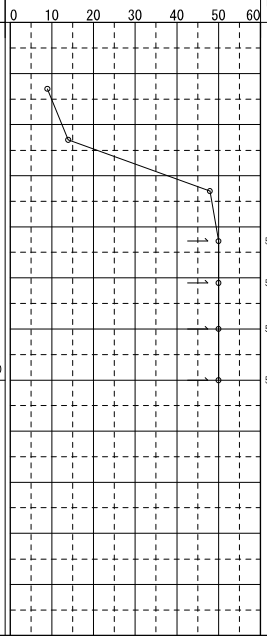
調査名	県立広島大学三原キャンパス　斜面補強事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BorNo.1	調査位置	三原市学園町　地内(NO.4+0.00 R=8.84m)	北緯	34° 23' 32.3241"
発注機関	広島県東部建設事務所　三原支所	調査期間	令和元年11月 1日～ 令和元年11月 2日	東経	133° 03' 20.5420"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 7.93m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	42° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　D1-C58型 / エンジン：ヤンマーNS130型 / ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	7.43	0.50		礫混りシルト質砂		茶褐			表土・崖推堆積物 φ10mm前後の礫が混じり、細粒分を含む 砂は細～中砂主体	
1 2 3	4.33	3.60		粘板岩		淡灰			粘板岩の風化土 原岩組織を残すも風化著しく礫混じり砂質土状となる。	
4 5 6	1.43	6.50		風化粘板岩		黒褐			風化粘板岩 土丹状コアとして採取される。 ハンマーの軽打でくずれる。 深度6.25～6.4m間は、高角度の割れ目に沿って粘土化する。 軟岩Ⅰ. 岩級DH	
7 8 9 10 11 12	0.93	7.00		風化粘板岩		黒褐			上位より新鮮で概ね短柱状コアとして採取。 層理面や割れ目に沿って風化が進行する。 ハンマーの打撃で割れる。 軟岩Ⅱ岩級CL～CM	11/2 7.00

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	2	3	4	9/300		
14	1.45	3	5	6	14/300		
48	2.15	12	17	19	48/300		
50以上	3.15	15	18	17	50/260	260	
50以上	4.15	50		60	50/100	100	
50以上	5.05	貫入不能			50/0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	
	7.00						

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験 深度(m)	試験名及び結果	削孔月日
						11/1 11/2